

## 令和3年度 子ども大学さやま・いるま

### 1 実施体制

子ども大学さやま・いるま	学長	井上 俊哉（東京家政大学・東京家政大学短期大学部学長）
	副学長	向野 康雄（狭山市教育委員会教育長）
	副学長	中田 一平（入間市教育委員会教育長）
子ども大学さやま・いるま 実行委員会	実行委員長	池森 隆虎（東京家政大学地域連携推進センター所長）
	実行委員 （関係団体）	東京家政大学/狭山市教育委員会/入間市教育委員会

### 2 事業内容

開催期間	令和3年11月6日～令和3年11月27日			
参加者数等	定員	30名	応募者数	52名
	参加者数	4年 10名	修了者数	4年 10名
		5年 11名		5年 11名
		6年 9名		6年 9名

### 3 実施内容

1日目	開催日時	11月6日（土） 15:00～17:00	 <p style="text-align: center;">自由な発想で思い通りに表現！</p>
はてな学	会場	東京家政大学	
	講義名	「木片を活かしたアートワーク ー並べる・つなぐ・彩るー ひとりの作品とみんなの作品」	
	講師	東京家政大学教授 結城 孝雄	
2日目 午前の部	開催日時	11月20日（土） 10:00～11:30	 <p style="text-align: center;">大学生の指導でグループワーク実践</p>
はてな学・ふるさと学	会場	東京家政大学	
	講義名	「「歴史」って、何？なぜ、「歴史」 を学ぶの？～考古学者になったつ もりで、歴史から学ぶ楽しさ・面白 さを学ぼう！！～」	
	講師	東京家政大学教授 中尾 浩康	

学食体験	昼食は、ワンコイン500円で、学食体験！！ 「自分の好きなメニューを選ぼう！」当日、わくわく！どきどき！お楽しみ！	
2日目 午後の部	開催日時 11月20日（土） 12：30～14：00	 <p>言葉・体・心が繋がっていることを実感！</p>
生き方学	会場 東京家政大学	
講義名 「思いっきり声を出して、体を動かして詩を読んでみよう！～言葉・体・心が繋がっていることを実感！声に出して、詩の世界を味わってみよう！！～」		
	講師	俳優・演出家・振付師 金田 誠一郎
3日目	開催日時 11月27日（土） 14：30～16：00	 <p>歯型の模型で歯磨きの力加減を確認！</p>
はてな学・生き方学	会場 東京家政大学	
講義名 「意外と知らない「歯」と「脳」との関係を知ろう！」		
	講師	東京家政大学教授 久篠 奈苗

#### 4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・例年定員60名のところ、30名に縮小して実施した。
- ・講師・実行委員・参加者全員、入構時の検温・手の消毒・マスク着用等、感染症予防対策を徹底した。
- ・座席は指定とし、万が一感染者が出た場合、濃厚接触者に素早く対応できるようにした。
- ・座席は間隔をあげ、徹底して密を避けた。
- ・入学式、修了式の保護者の参加はなしとし、修了証書の受領は各市の代表者各1名のみとした。

5 参加者の声

<p>参加した子どもの声（感想）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加して大学の中に入れたのがうれしかった!!歯と脳の秘密や、歴史などをいろいろ知れてうれしかった。またあれば応募したいです。これからの生活に3日間で学んだことを活かしていきたいです。</li> <li>・アートなど自由にやったことや、歴史をととても面白いと感じられたことが、とても良かったと思いました。</li> <li>・初めて会った人とも、いろいろな授業を通して仲良くなれたのでうれしかったです。普段、学べないことが学べて楽しかったです。</li> <li>・歴史についての講義でもらった貝（セタシジミ）が、後日すごく学校で役立ちました。理科で地層についてやったときに貝を見せたら先生がすごくほめてくださいました。また、習ったことを友達に教えることが出来ました。ありがとうございます。3日間とても楽しく過ごせて良かったです。来年は来れない（中学）けれど、この思い出を忘れないようにしたいです。</li> <li>・どの講義もとても勉強になりました。話をずっと聞いているだけではなく、友だちと話をしながら意見を交わしたり、実際にやってみたりすることで、より楽しむことができたのではないかと思います。</li> </ul>
<p>保護者の声（感想）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校ではなかなか体験できない授業で追求ができ、とてもハマリ楽しいとの事でした。色々な分野を限られた時間で経験し、興味がない事でも知りたいと感じるキッカケになったようです。このような機会をより沢山実施していただきたいです。</li> <li>・毎回、「楽しかったー！」と言って帰ってきました。先生が分かりやすく教えてくれた事や、新しいお友達が出来た事、学食が美味しかった事などうれしそうに話してくれました。子ども大学に入学できて良かったです。よい経験ができました。</li> <li>・2日目に縄文時代について学んだ日の夜、TV番組で縄文時代についての内容が放送され、タイムリーな情報を得られて、喜んだと同時にとても興味を持っている姿が見られた。</li> <li>・大学の雰囲気は体感できたようです。特に初日の図工が楽しかったそうで、制限なくアイデアをふくらませることができたことが良かったと本人は言っていました。普段の学校で勉強することとは違った経験ができたのは良かったと思っています。</li> <li>・自分が一時的にも大学生になった事をうれしそうに話していました。一番楽しかったのは学食だった様です。大学の学食を体験することはなかなかないと思いますし、自分で好きな物を選んで食べるという事が良い経験になった様です。アートワークも学校の工作とは違った感じでとても楽しかったそうです。いい経験が出来ました。</li> <li>・コロナ禍で子どもに色々な体験をさせてあげるチャンスが減ってしまっているところで、学びの場を提供いただけてありがたかったです。子どもも帰ってくると、いつもとてもよい顔で楽しかったとっておき大変うれしく感じました。狭山市のお友達もできたと言っていました。交流もできてよかったです。この体験を今後の本人の学びにいかして行ってほしいと思います。また下の子達もぜひ参加させたいと思います。</li> </ul>